

差別をなくす村民集会

7月10日(金)午後7時30分から、曾爾村振興センター大ホールで79名の参加者で開催致しました。講師は、幾中央大学非常勤講師の平岡譲さんで、「地域の特性をいかした人権のまちづくり」と題して講演をしていただきました。

講演の内容は、住みやすい「まち」「むら」とは、住んでいる人々が積極的に価値観を発見し認めるものである。「住んでよかった」「住みたくなる」ということがなければ「まちづくり」は始まらない。“本当の住み良さってなんだろう”と問いかけ、人権の視点から暮らしや地域の中にある題材を説き直し、人権文化の花を開かせようと話していただきました。「住みやすくするのも・住みにくくするのも」一人ひとりの人権を大切にす心の実践であると気付かされました。



2009年度高齢者人権学習会

7月27日(月)午前10時より、曾爾村振興センター大ホールにおいて63名の参加を得て、高齢者人権学習会が開催されました。本年は、演題を「出会いに学ぶ」とし、桜井市三輪山平等寺住職丸子孝法氏にご講演いただきました。ハンセン病で長い間入院されていた方との話や、我が子が学校でイジメにあっているがその解決方法は如何に。また、丸子先生自身が中学生の頃にリウマチを患いましたが、治癒したことが仏門に入るきっかけとなった話等を交えながら、人権問題は自分としてのとらえ方や自分自身が変わらなければいけないこと、人と人との信頼関係の大切さ等についてご講演いただきました。



夕涼み会 大成功

7月25日(土)、曾爾子育て支援センターにおいて「夕涼み会」を開いたところ、75名の親子の皆さんが参加してくれました。

大型遊具で遊んだり、親子わらべうたで心も体もリラックス!! 大きなおなべで作ってくれたカレーライスもおいしく頂きました。

